

意見文を比べて読む〈宮崎の方言〉	組	番氏名
------------------	---	-----

とも子さんの学級では、方言についての学習をしたあとに、先生が、文化庁の「国語に関する世論調査」の結果の一部と、このことについて書かれた二つの意見文を紹介してくれました。

次の「国語に関する世論調査」の結果の一部と二つの意見文A・Bを読んで、あとの問いに答えましょう。

「国語に関する世論調査」の結果の一部

- 共通語と方言について、どの考えに近いですか。
- ア 相手や場面によって共通語と方言を使い分ければよい。……………79・2%
 - イ 基本的に共通語を使い、方言はできるだけ使わない方がよい。……………13・6%
 - ウ どちらとも言えない。……………6・3%
 - エ 分からない。……………0・9%

※「平成二十二年度 国語に関する世論調査」（文化庁）より作成

意見文A

わたしは、「相手や場面によって共通語と方言を使い分ければよい」という考えに賛成である。

その理由は、すべての人が共通語を使い、方言を使わないようにすると、方言がなくなってしまう、ふるさとに対する思いもなくなってしまうと思うからである。

わたしは、子どものころ、小学校四年生までは宮崎に住んでいたが、五年生に進級すると同時に、父の仕事の関係で大阪の学校に転校した。友達は、すぐにできたが、周りのみんなが関西の方言で話をしてるので、時々、言っていることが分からなかったり、独特の話し方に怒っているのかなと感じたりすることがあり、なかなか言葉になじむことができなかった。中学生の時に宮崎にもどってきたのであるが、一番に帰ってきたことを実感したのが、「てげてげ」「よだきい」といった宮崎の方言であった。宮崎人の大らかさを表しているようで、聞いてほっとしたことでも覚えてる。

方言は、伝統や文化にささえられたその地方ならではの言葉である。方言を聞くことで、自分のふるさとを実感することができる。だから、方言をしっかりと守りながら、相手や場面によって共通語を使うようにするとよいと考える。

意見文B

わたしが、小学生のころに、家族で熊本の本家の祖父の家に行った時のことであった。お客さんが来られたようだったので、わたしが玄関のドアを開けると、男性の年配の方が立っていらっしやった。「何かご用ですか？」

とたずねた。すると、その男性の方から、
 「じいちゃんは、おんなつですか？」
 と聞かれたので、変なことを聞く人だなあといいながら、
 「男です。」
 と答えたら、その男性の方は、わたしの顔をじっと見るなり、大笑いをされた。わたしは、なぜ大笑いされたのか分からず、はずかしい思いをした。後で、祖父に聞くと、「おんなつですか」というのは、「いらつしやいますか」という意味だったそうだ。相手に分かるように話すことが、会話の基本である。方言を使うことで、相手に正確に伝わらず、誤解を生んだり、いやな思いをさせたりすることは、さけなければならぬ。
 だから、わたしは、「基本的に共通語を使い、方言はできるだけ使わない方がよい」という考えに賛成である。

(一) 意見文Bにおいて、筆者は、なぜ「基本的に共通語を使い、方言はできるだけ使わない方がよい」と考えているのでしょうか。その理由を七十五字以上、九十字以内で書きましよう。

相	手	に	分	か	る	よ	う	に	話	す	こ	と	が	、
会	話	の	基	本	で	あ	り	、	方	言	を	使	う	こ
と	で	、	相	手	に	正	確	に	伝	わ	ら	ず	、	誤
解	を	生	ん	だ	り	、	い	や	な	思	い	を	さ	せ
た	り	す	る	こ	と	は	、	さ	け	な	け	れ	ば	な
ら	な	い	か	ら	。									

90字 75字

(二) 先生は、この二つの意見文A、Bでみんなに紹介したそうです。二つか。二つ書きましよう。

〈解答のポイント〉
 理由をたずねられているときは、文末に「〜から」「〜ため」をつかいます。

力なの
 ことす

- (解答例)
- 自分の考えの立場を明確にして(はっきりさせて)いること
 - 自分の立場の理由をしつかりと述べていること
 - 自分の体験をもとに自分の考えを述べていること
- ※ これらの中から、二つ取り上げて記述する。